

令和6年度一般財団法人佐賀県産業医学協会事業報告書

【公益事業】			
区分	内 容		実施状況
公益目的事業	産業保健相談窓口の設置	県内の企業、産業保健関係者等からの労働衛生管理に係る相談窓口を設置し、無料で相談に応じ、アドバイス等を行う。	県内の企業、産業保健関係者等からの労働衛生管理に係る相談が13件あり、これら相談に対して、無料で情報提供、助言・指導を行った。
継 続 事 業	佐賀県産業安全衛生大会における健康測定ブースの設置	来場者に対して、体重、体脂肪、BMI、血圧等を測定し、健康上の留意点等を無料でアドバイスを行う。	左記大会において、来場者に対し、体重、体脂肪、BMI、血圧等（延べ50名）を測定して健康管理上のアドバイスを行った。
	全国労働衛生週間説明会における広報活動	説明会出席者に対して、作業環境管理、作業環境測定等の重要性について、啓発する。	一般社団法人佐賀県労働基準協会主催の全国労働衛生週間説明会（県内5会場、576名参加）において、労働衛生管理及び作業環境測定の重要性について啓発した。
	健康管理カレンダーの配布	健康標語、健康管理上の留意点等を記載したカレンダーを県内の企業、団体、行政機関等に配布する。	健康管理カレンダーを570部作成し、県内の企業、団体、行政機関等に配布して健康管理の重要性について啓発した。
	調査研究活動	県内企業における労働衛生管理、健康診断・作業環境測定等に関する調査結果を取りまとめ、冊子にし、産業保健関係者等に配布する。	健康診断、作業環境測定の実施状況に関する報告書を取りまとめ、冊子（200冊作成）にして、県内の企業、団体、産業保健関係者等に配布した。
	健康管理実務研修会	県内の産業保健関係者、労務管理担当者等に対して、健康管理等に係る知識、技術等を付与する。	令和7年3月7日にアバンセにおいて、県内の企業、産業保健関係者等を対象とした健康管理実務研修会を開催し、57名の参加があった。 演題「P S A検診と佐賀の前立腺がん」 佐賀大学医学部附属病院 病院長 野口 満 「健康診断の活用法・事後措置について」 一般財団法人 佐賀県産業医学協会 理事長 後藤 英之
	保健師による労働衛生管理支援	企業からの依頼に基づき保健師が、事業場における健康管理等の支援を行う。	延べ148回、当協会保健師が、健康管理、労働衛生管理等に関する指導・助言を行い、事業所における健康確保活動を支援した。
特 定 寄 附	国立大学法人佐賀大学に対する現金寄附		令和7年3月に社会医学研究等に係るものとして130万円の寄附を行った。

【収益事業】						
区分	項目		人 数		増 減	備 考
			令和5年度実績	令和6年度実績		
健 康 診 断	一般健診	一般健診	30, 186	27, 459	▲2, 727	
		特定健康診査	310	236	▲74	
	特殊健診		18, 790	18, 355	▲435	
	成人病健診(市町村等)		2, 636	2, 830	194	
	生活習慣病健診		10, 566	10, 994	428	
	検 査	各種検査	17, 893	17, 773	▲120	
		労災二次健診	426	430	4	
	予防接種		4, 321	4, 380	59	
	ストレスチェック		34, 154	34, 149	▲5	
作業環境測定	作業環境測定		3, 154	3, 134	▲20	(作業場数)
産業医活動・保健指導	産業医派遣		186	191	5	(延派遣件数)
	保健指導 (注)	保健指導	153	148	▲5	
		特定保健指導	700	752	52	(人数)

(注) 保健指導欄の上段の「保健指導」は健診後の事後指導及び保健指導委託事業場に対する指導回数(人日)、下段の「特定保健指導」は健保組合健診実施後の初回面接保健指導人数である。